

平成30年第3回白石町議会定例会会議録

会議月日 平成30年9月14日（第11日目）
場 所 白石町役場議場
開 会 午前9時30分

1. 出席議員は次のとおりである。

1番	友田香将雄	9番	吉岡英允
2番	重富邦夫	10番	片渕彰
3番	中村秀子	11番	草場祥則
4番	定松弘介	12番	井崎好信
5番	川崎一平	13番	内野さよ子
6番	前田弘次郎	14番	西山清則
7番	溝口誠	15番	溝上良夫
8番	大串武次	16番	片渕栄二郎

2. 欠席議員は次のとおりである。

なし

3. 地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者は次のとおりである。

町長	田島健一	副町長	百武和義
教育長	北村喜久次	総務課長	松尾裕哉
企画財政課長	井崎直樹	税務課長	木下信博
住民課長	門田和昭	保健福祉課長	大串靖弘
長寿社会課長	矢川又弘	生活環境課長	小池武敏
水道課長	中村政文	下水道課長	片渕徹
農業振興課長	堤正久	産業創生課長	久原浩文
農村整備課長	笠原政浩	建設課長	喜多忠則
会計管理者	西山里美	学校教育課長	吉岡正博
生涯学習課長	千布一夫	農業委員会事務局長	久原雅紀

4. 議会事務のため出席した事務局職員は次のとおりである。

議会事務局長	小柳八束
議事係長	中原賢一
議事係書記	緒方千鶴子

5. 会議録署名議員の指名 会議録署名議員に次の2人を指名した。

9番	吉岡英允	10番	片渕彰
----	------	-----	-----

6. 本日の議事日程は次のとおりである。

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 議案第34号 平成29年度白石町一般会計歳入歳出決算の認定について
(討論・採決)

日程第3 議案第45号 平成30年度白石町一般会計補正予算(第2号)
(討論・採決)

日程第4 発議第3号 下水道施設の改築への国費支援の継続に関する意見書

日程第5 委員会の閉会中における所管事務調査

9時30分 開議

○片渕栄二郎議長

おはようございます。

これより本日の会議を開きます。

暑い方は上着をおとりください。

日程第1

○片渕栄二郎議長

日程第1、会議録署名議員の指名をします。

会議規則第119条の規定により、本日の会議録署名議員として、吉岡英允議員、片渕彰議員の両名を指名します。

9月11日の文教厚生部門の財産の無償譲渡関係議案の中で、溝口誠議員の質疑に対し、補足説明をしたいと保健福祉課長から申し出がっております。発言を許可します。

○大串靖弘保健福祉課長

先日議案第41号から議案第43号の中の保育園の民営化の関係での質問でございましたけれども、溝口議員からの質問でありまして、園が倒産というか解散したりした場合には町が責任を持つてするという答弁を得ていたということでございまして、調べております。

平成26年3月7日の答弁でございます。指定管理期間内での指定管理者の取り消しとか、そういった場合があった場合には、町が責任を持つて園の運営を行うといった答弁でございました。

今回私が申し上げました答弁をいたしましたのは、完全民営化した後のことございまして、指導監査等を行い、そのような事態とならないようにするという御理解をいただきたいということで、御答弁を差し上げました。

以上でございます。

日程第2

○片渕栄二郎議長

日程第2、議案第34号「平成29年度白石町一般会計歳入歳出決算の認定について」を議題とします。

本案は質疑が終了しておりますので、討論から入ります。

討論ありませんか。

○内野さよ子議員

議案第34号「平成29年度白石町一般会計歳入歳出決算の認定について」賛成の討論をします。

歳入総額148億8,355万3,178円、歳出総額144億1,562万3,912円となっております。歳入歳出とも増大をしています。合併後既に13年が経過し、特例債の優遇措置が減少している中で、交付税の依存度が高い白石町にとって厳しい状況にあることは間違いありません。

総務常任委員会において合併後の検証ということで代表質問もいたしました。その結果、収入と支出のバランスをとりながら事業推進に向けて平成29年度も努力をされているという姿が伺えたところです。

しかし、課題も多く、第2次総合計画、人口減少問題に対応するためのまち・ひと・しごと総合戦略等については、課題解決に向け取り組まなければならない事業が山積をしています。

また、道の駅の完成に向けた最終時期となっております。町長を初め職員の皆さんも、課ではないというのではなくて、総力を挙げて取り組んでいただきたいと思います。議会からの厳しい意見もあったかと思いますが、目的、目標は同じです。よろしくお願いいたします。

よって、決算の認定については賛成討論といたしますので、議員の皆様の御賛同をよろしくお願いいたします。

以上です。

○片渕栄二郎議長

ほかにありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

これで討論を終わります。

これより議案第34号「平成29年度白石町一般会計歳入歳出決算の認定について」採決します。

本案を認定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

起立全員です。よって、議案第34号は認定することに決定しました。

日程第3

○片渕栄二郎議長

日程第3、議案第45号「平成30年度白石町一般会計補正予算(第2号)」を議題と

します。

本案は、質疑が終了しておりますので、討論から入ります。

討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

討論なしと認めます。

これより議案第45号「平成30年度白石町一般会計補正予算（第2号）」について採決します。

本案に賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

起立全員です。よって、議案第45号は原案のとおり可決されました。

日程第4

○片渕栄二郎議長

日程第4、発議第3号「下水道施設の改築への国費支援の継続に関する意見書」についてを議題とします。

事務局に意見書案を朗読させます。

○小柳八束議会議務局長

議会議務局長です。

朗読いたします。

下水道施設の改築への国費支援の継続に関する意見書（案）。

平成29年度に開催された財政制度等審議会において、下水道事業については受益者負担の観点から、汚水に係る下水道施設の改築については排出者が負担するべきとの考えのもと、国による支援は未普及の解消及び汚水対策への重点化の方針が提示され、昨年12月22日、国土交通省から下水道事業に係る社会資本整備総合交付金等の予算配分の考え方として、アクションプランに基づく下水道未普及対策事業、下水道事業計画に基づく汚水対策事業等への重点化の方針が通知された。

仮に、下水道施設の改築への国費支援がなくなった場合、今後人口減少が本格化する中、著しく高額な下水道使用料を徴収せざるを得なくなり、住民生活が成り立たなくなる。一方、下水道使用料の大幅な引き上げについて理解が得られず、施設の改築が進められなくなった場合、道路陥没や下水処理の機能停止によるトイレの使用停止など、住民生活に重大な影響が及ぶおそれがある。また、下水道は地域からの汚水を排除することによって公衆衛生を確保するとともに、汚水を浄化、放流することによって公共用水域の水質を保全するなど、公共的役割が極めて大きな事業であるが、この役割は新設時も改築時も変わるものではない。よって、国においては、住民生活の維持や下水道の公共的役割に対する国の責務の観点から、下水道施設の改築に対する国費支援を継続することを強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成30年9月14日。白石町議会。

衆議院議長大島理森様、以下、敬称を略します、参議院議長伊達忠一、内閣総理大

臣安倍晋三、総務大臣野田聖子、財務大臣麻生太郎、国土交通大臣石井啓一。
以上、朗読を終わります。

○片渕栄二郎議長

提出者に趣旨説明を求めます。

○井崎好信議員

それでは、私のほうから提案理由を述べさせていただきます。

下水道施設は地域の公共衛生を確保するとともに、住民の日常生活を支える基礎的な社会資本であります。また、施設の老朽化が進行する中において、改築工事についてはこれから着実な整備が必要不可欠であるかと思えます。ついでには、住民生活の維持や下水道の公共的役割の観点からも、下水道施設の維持管理及び更新が計画的に進められるように、国費支援が確実に継続されることが必要と考えます。

よって、議規則第13条第2項の規定により意見書案を提出します。議員皆様方の御賛同をよろしくお願いいたします。

○片渕栄二郎議長

お諮りします。

発議第3号は、全議員による提出であり、内容等も判明していますので、質疑、討論を省略することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

異議なしと認め、質疑、討論を省略することに決定しました。

これより発議第3号「下水道施設の改築への国費支援の継続に関する意見書」について採決をします。

お諮りします。

発議第3号は原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

異議なしと認め、よって、発議第3号は原案のとおり可決されました。

日程第5

○片渕栄二郎議長

日程第5、常任委員会の閉会中における所管事務調査を議題とします。

会議規則第72条の規定により、お手元に配付しておりますとおり各常任委員長から閉会中の継続調査について申し出がっております。

本件について各常任委員長から報告を願います。

○内野さよ子総務常任委員長

閉会中の継続調査申出書。

本委員会は、所管事務のうち下記の事件について閉会中の継続調査を申し出ます。

議会基本条例の実践と議会改革、また財政再生計画への取り組みについての調査を

実施したく申し出ます。

具体的には、平成18年に全国で初めて議会基本条例を制定された北海道栗山町を視察します。議会一丸となり基本条例の実践と議会改革に取り組みられてこられ、近年は議会モニター、サポーター制度を取り入れられ、全国的にも先駆的な取り組みを実践されています。常に変化し続ける議会改革の現状について学んできたいと考えています。

次に、北海道夕張市を視察いたします。夕張市は平成19年353億円の赤字を抱えて破綻し、財政再生団体となりました。行政サービスは切り詰められ、全国で最高の負担、最低の行政サービス、人々の生活は大きく変わり、若者は町を出ていきました。そのような中において、夕張を何とかしたいと市長になられた元東京都職員の鈴木直道さんの考えと、若い人のアイデアを取り入れたまちづくりの秘策について調査したいと考えています。

総務常任委員会では、今回の視察の調査結果とこれまでの財政に関する研修の成果を生かして、本町の身の丈に合ったまちづくりの施策と安定した財政運営への提言ができればと考えています。

調査の期間といたしまして、次期議会定例会開会の前日まで、10月下旬を予定しています。

以上のおり総務常任委員会を代表して申し出をいたします。

以上です。

○草場祥則文教厚生常任委員長

失礼します。

文教厚生常任委員会の議会閉会中の所管事務調査といたしまして、大学との包括連携による子育てと学習支援、財政再生計画における住民福祉への影響についての調査を実施いたしたく申し出ます。

具体的には、北海道由仁町を視察します。全国的に子育て支援と教育には各自治体が力を入れているところではございますが、由仁町においては、平成27年に星槎道都大学と包括連携を結び、子供たちの学習支援や交流を通じて子育て支援など、保護者から大きな反響と喜びが寄せられているようです。町の総合計画や広報紙にも、大学生が子供たちに理解しやすい言葉で翻訳することにより、子供たちが自分の町について関心を持つようになっているそうです。このように、地域の人材を生かした子育て支援施策について学んでくることにしております。

次に、総務常任委員会と合同で北海道夕張市を視察いたします。財政再生団体となったことにより、この10年間の住民への暮らしへの影響、高齢者や生活弱者へのどのようなしわ寄せがあったのか、そのような点について調査してきたいと考えております。また、実際に市の中心部などへ足を運び、町の現状と住民の生の意見を聞いていきたいと考えております。

文教厚生常任委員会では、この調査結果については持ち帰り、厳しい財政状況においても住民が安心して暮らせる福祉のあり方について議論を交わしたいと考えております。

この調査の期間といたしましては、次期議会定例会開会の前日まで、10月下旬を予定しております。

以上のとおり文教厚生常任委員会を代表して申し出ます。よろしく申し上げます。

○井崎好信産業建設常任委員長

産業建設常任委員会の議会閉会中の所管事務調査といたしまして、農業生産法人による野菜づくりと物流加工ネットワークづくり、及び企業誘致について調査を実施したく申し出ます。

具体的には、山梨県北杜市にあります有限会社イズミ農園を視察します。イズミ農園では、全国各地に2,500アールの農園を持ち、それぞれの地域で健康でおいしい野菜や果実を生産され、安定供給をされております。また、2,000戸の契約農家への技術指導と流通から販売の窓口までシェアをされておられ、全国に物流、加工、調理に関するネットワークを構築されておられます。イズミ農園の代表者は、生きるために健全な食と命の輝きについて考え研究を重ねておられるようです。山梨県の農園における野菜づくりの現場を視察し、消費者と農家をつなげるネットワークづくりや、経営者の考える健全な食と命について聞き取りをしながら調査をしたいと考えています。

次に、企業誘致についての調査を実施いたします。

佐賀県においては、工場立地や本社機能移転には手厚い優遇制度を設けられて、移住促進策とあわせて取り組まれているところであります。今回は地方への移転の妨げとなっている理由や課題などについて、実際に企業の経営者へのもとへ訪問して、直接聞き取りをすることとしており、あわせて会社や工場を見学しながら調査をいたします。

今回は、東京都内の2つの会社を訪問したいと思っております。

1つ目は、東京都大田区で経営をされている鉄鋼関連の中小企業の小野商鋼株式会社を訪問いたします。町工場の生き残りをかけた技術力と各種行政の支援策など、細かに説明を受けてきたいと考えております。

2つ目は、東京都日野市にある大企業の、トラックで有名な日野自動車株式会社を訪問いたします。日野自動車は全国各地に工場や営業所、関連部品会社を持っておられ、新たな立地先も模索されているそうです。全国や世界を大きく見渡した大企業の考え方について学んでくる予定であります。

また、この2つの企業は、佐賀と白石町に縁のある経営者がおられる会社を訪問先に選定をしたところであります。本町も近い将来、公共用地の売却処分などの問題が出てくるものと推測されますので、本町の企業誘致に向けた政策提言に生かしていければと考えております。

調査の期間といたしましては、次期議会定例会開会の前日まで、11月の上旬を予定しております。

以上のとおり産業建設常任委員会を代表いたしまして申し出をいたします。

○片渕栄二郎議長

お諮りします。

各委員長からの申し出を閉会中における所管事務調査とすることに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

異議なしと認めます。よって、各委員長からの申し出を閉会中における所管事務調査とすることに決定しました。

以上で本定例会に付された案件は全て終了しました。

会議を閉じます前に町長から挨拶があります。

○田島健一町長

平成30年9月定例議会の閉会に当たりまして一言御挨拶を申し上げます。

今議会は9月5日から本日までの11日間、議員の皆様提案いたしました平成29年度白石町一般会計及び特別会計の歳入歳出決算の認定の議案、平成30年度白石町一般会計及び特別会計の補正予算の議案、さらに白石町道の駅しろいしの条例案件など、16件に及ぶ議案につきまして十分な審議をいただき、全ての議案、原案どおり認定、可決いただきました。まずもってありがたく厚くお礼を申し上げます。

今回もそれぞれの議案の審議の過程におきまして、いろいろな御意見を賜りました。いただきました御意見につきましては今後の町政執行にしっかりと反映させていく所存でございます。

ところで、議会が開催されてから気温のほうは30度を下回るようになり、最低気温のほうも20度前後となってまいりまして、過ごしやすくなってまいりました。先月8月はここ40年で最高の9個の台風が発生しました。そして、本格的なシーズンとなります9月に入りましてからは、今のところ2個の発生ということで、例年の半分以下ということになってございます。今後は少ない発生、そして日本に影響を与えないでほしいと思うばかりでございます。

秋は、我が白石町におきましては米の収穫、タマネギほか野菜の植えつけ、有明海ではのりの張りつけなど、大変忙しくもなりますが、一番大事な時期でもございます。今議会でも5名の議員様から災害に対することの御質問をいただいたところでございます。近年頻発している自然災害に鑑み、その対応について白石町として手ばかりがないのか、安全を期するためには役場だけでなく、広く町民の皆様との協力体制をどうしていくのかなど、議論をさせていただきました。町民の皆様の生活の安全・安心を確保、守り、また本町の農業など産業を守っていくため、防災対策につきましてはしっかりと取り組んでいく所存でございます。

今後とも御指導、御協力方、よろしくお願いを申し上げます。

今議会におきまして、全議案認定、可決いただきましたことを改めてお礼申し上げ、御挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

○片渕栄二郎議長

これもちまして平成30年第3回白石町議会9月定例会を閉会します。

9時56分 閉会

上記、会議の経過を記載し、その相違ないことを証するため、地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

平成30年9月14日

白石町議会議長 片 渕 栄二郎

署 名 議 員 吉 岡 英 允

署 名 議 員 片 渕 彰

事 務 局 長 小 柳 八 束